

高等部職員自己評価

番号		評価項目	評価			
			A	B	C	D
児童生徒の 学びの充実	1	児童生徒の障がいの特性や発達の段階に応じて手立てや指導方法を工夫・改善し、授業の充実を務める。	17%	77%	6%	0%
	2	「個別的教育支援計画」に基づいて一人一人のニーズに応じた授業を行う。	9%	79%	13%	0%
	3	地域との交流活動さらに地域の学校との交流及び共同学習の充実に努める。	17%	64%	19%	0%
	4	経験を重視して、自立と社会参加につながる基礎的・基本的な内容の指導に努める。	13%	85%	2%	0%
	5	キャリア教育の視点にたって、児童生徒の働くところへの関心や意欲を高め、一人一人の進路（自己）実現に向けた取り組みをする。	15%	79%	6%	0%
健康・安全・安心	6	食育に関する研修会や歯みがき指導等を行い、健康な心と体の一層の保持増進に努める。	17%	68%	15%	0%
	7	安全で安心な環境づくりと学校事故防止に努める。	28%	62%	11%	0%
	8	安全・防災教育を推進し、交通安全や避難訓練を計画的に実施し、安全学習の充実に努める。	34%	62%	4%	0%
	9	いじめ防止基本方針に基づいて、組織的対応を行いながらいじめ防止に努める	28%	70%	2%	0%
	10	SNSの安全な利用法や長期休業中の生活指導の講話等を行い事故や事件に遭わないようにする。	38%	57%	4%	0%
専門性の 向上	11	障がいに応じた授業づくりに関する研修に取り組み、教員の専門性の向上に努める。	17%	81%	2%	0%
	12	校内研修会や各種研究会に積極的に参加し、障がいの多様化に対応できるように努めている。	21%	68%	11%	0%
地域や保護者 との連携	13	校内の児童生徒や保護者、担任のニーズに応じた教育相談や支援会議を実施する。	15%	74%	11%	0%
	14	地域の教育的ニーズを把握するとともに、校内の人材を的確に生かしたセンター的機能を果たす。	17%	64%	19%	0%
	15	ホームページの更新や充実に努め、情報の発信を行う	19%	57%	21%	2%



